

エンパワーメントできる人材を育成する

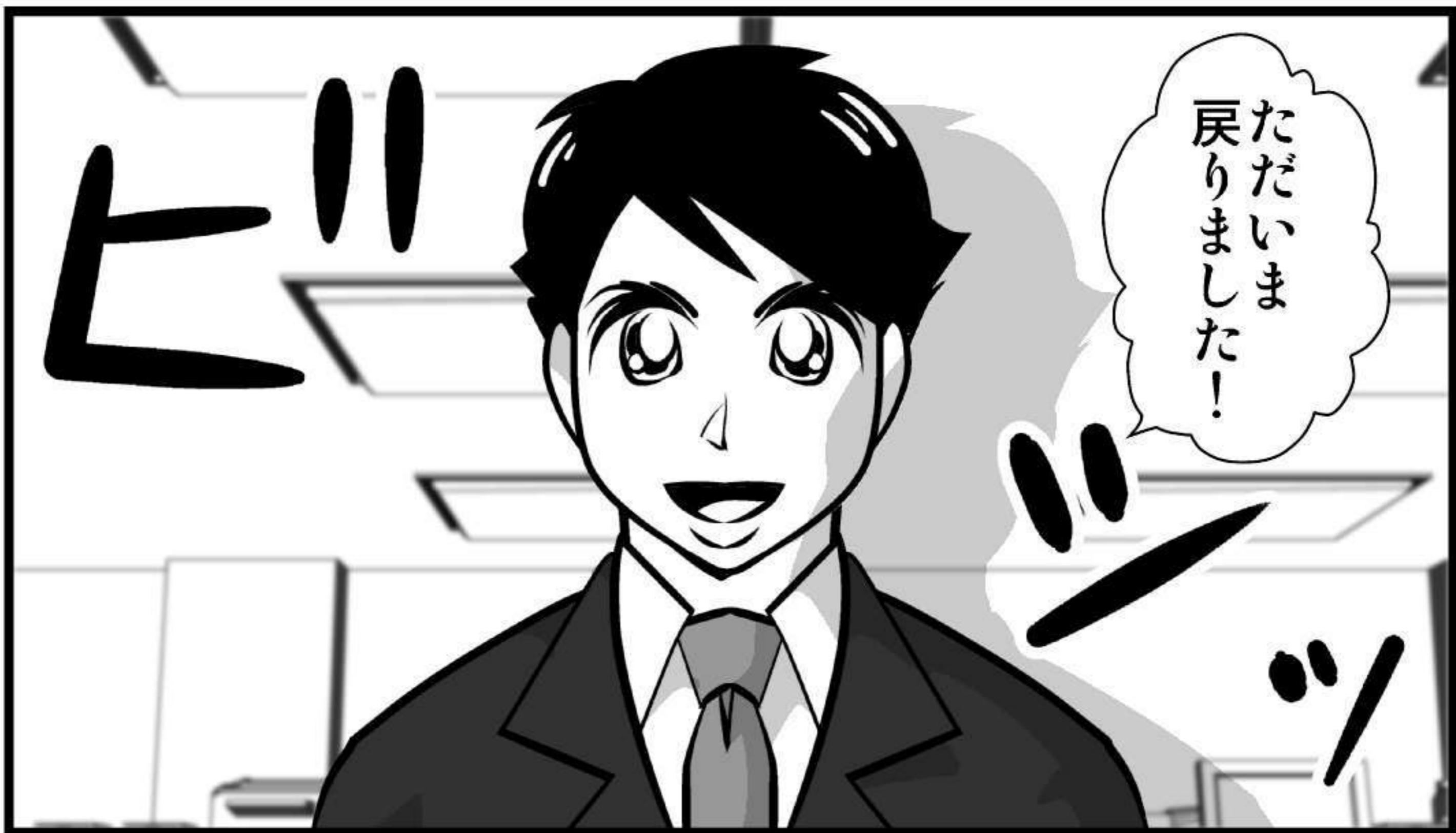
# Leader's College

リーダーズカレッジ®



「笑い」を用いた

ユニークな人材育成法！





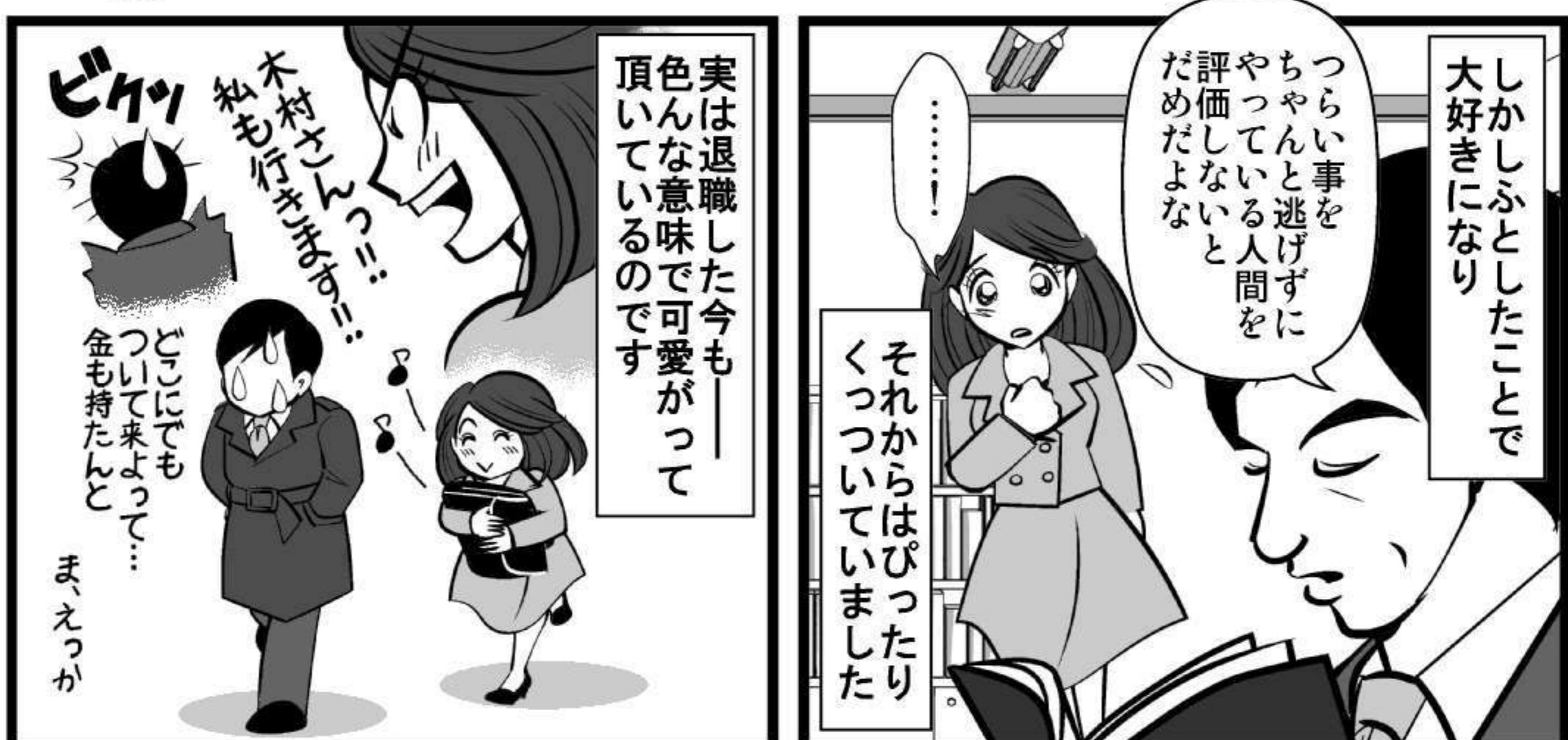






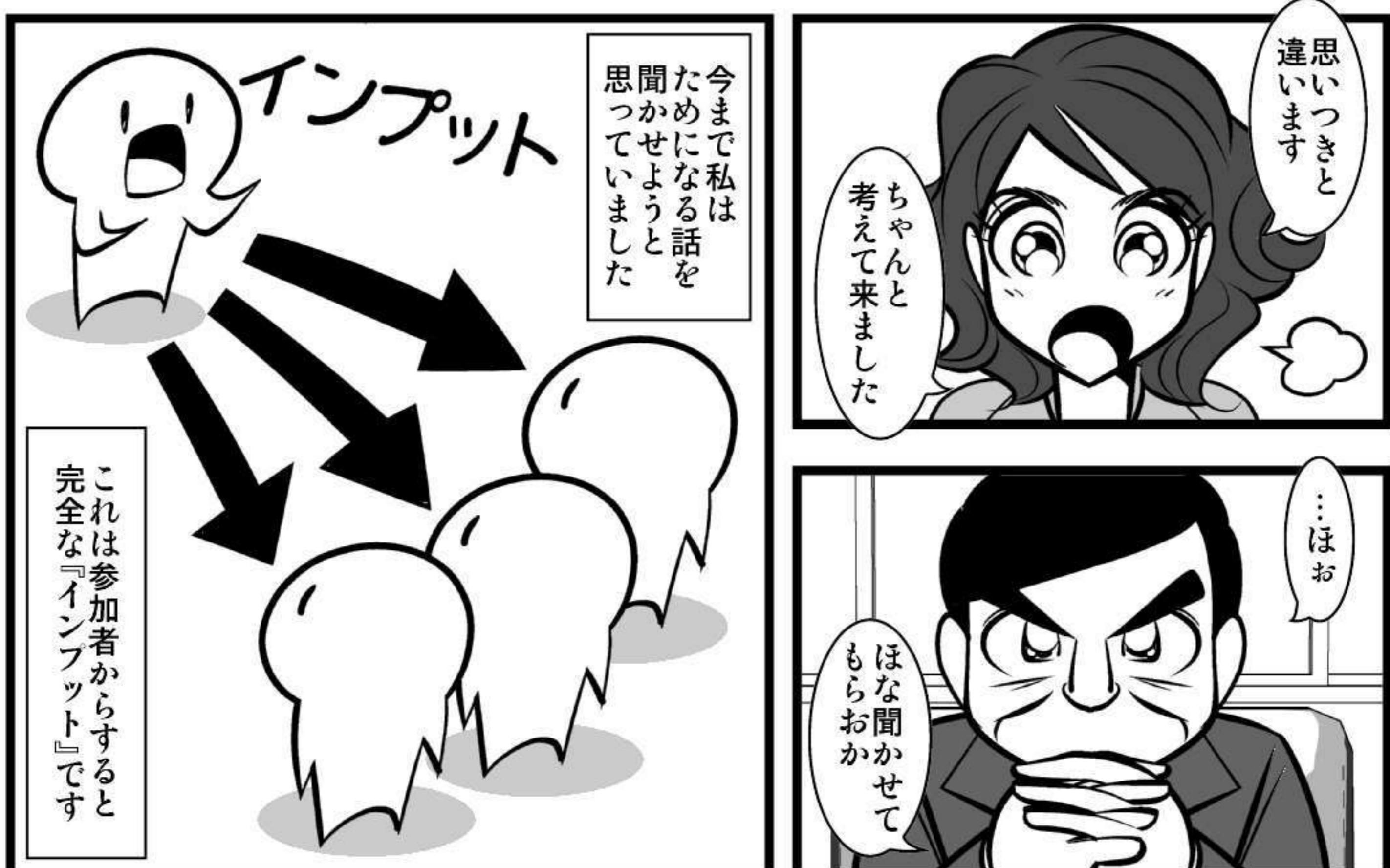


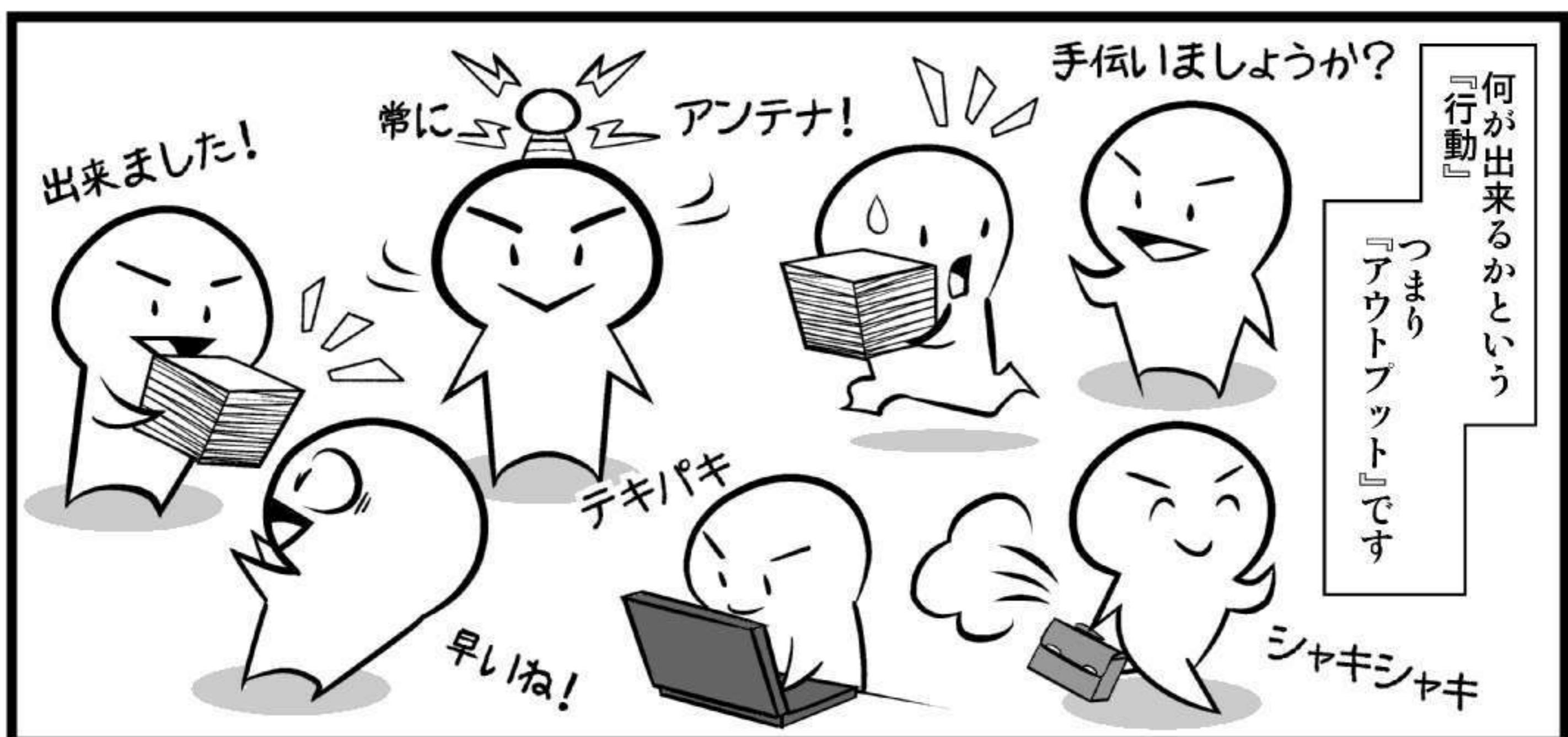
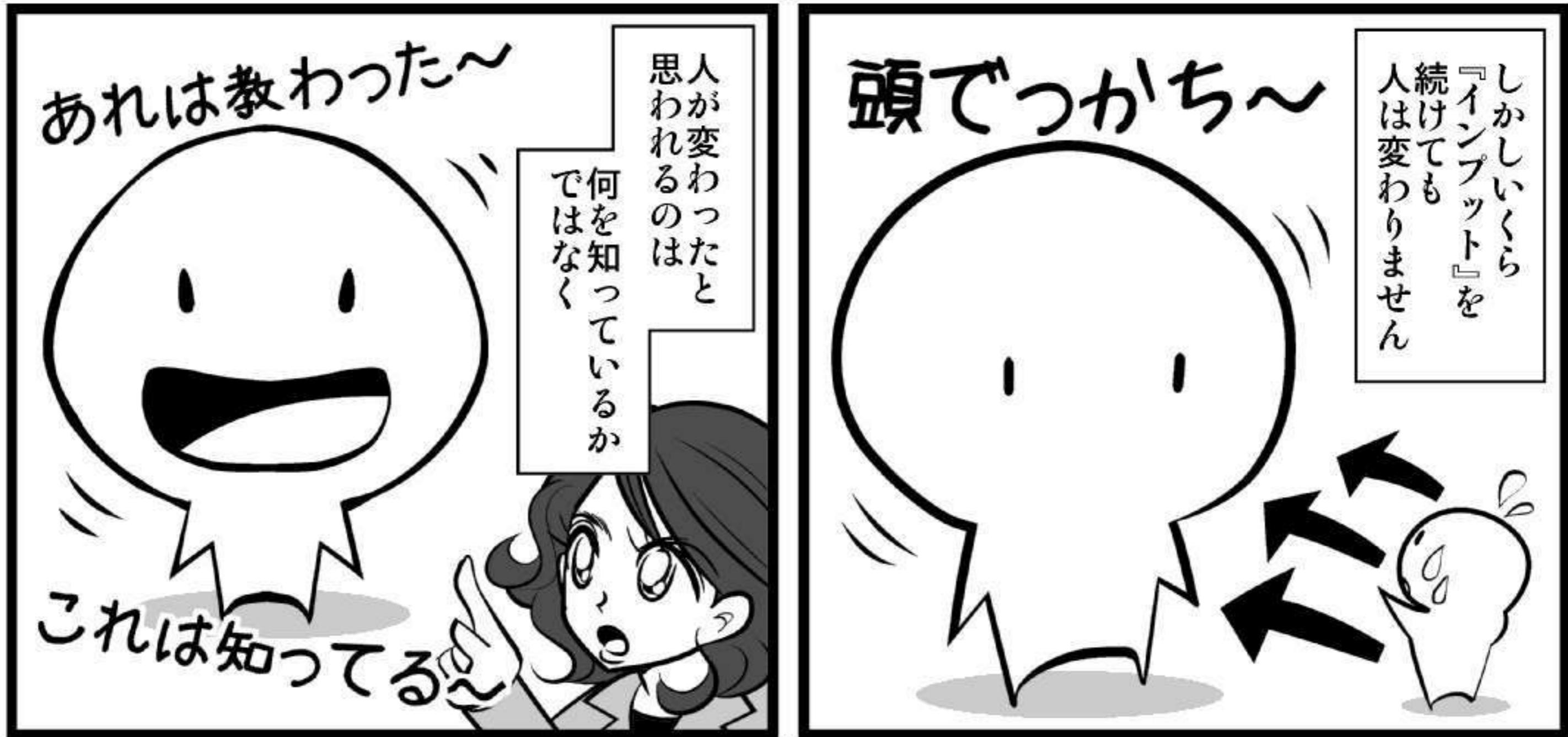


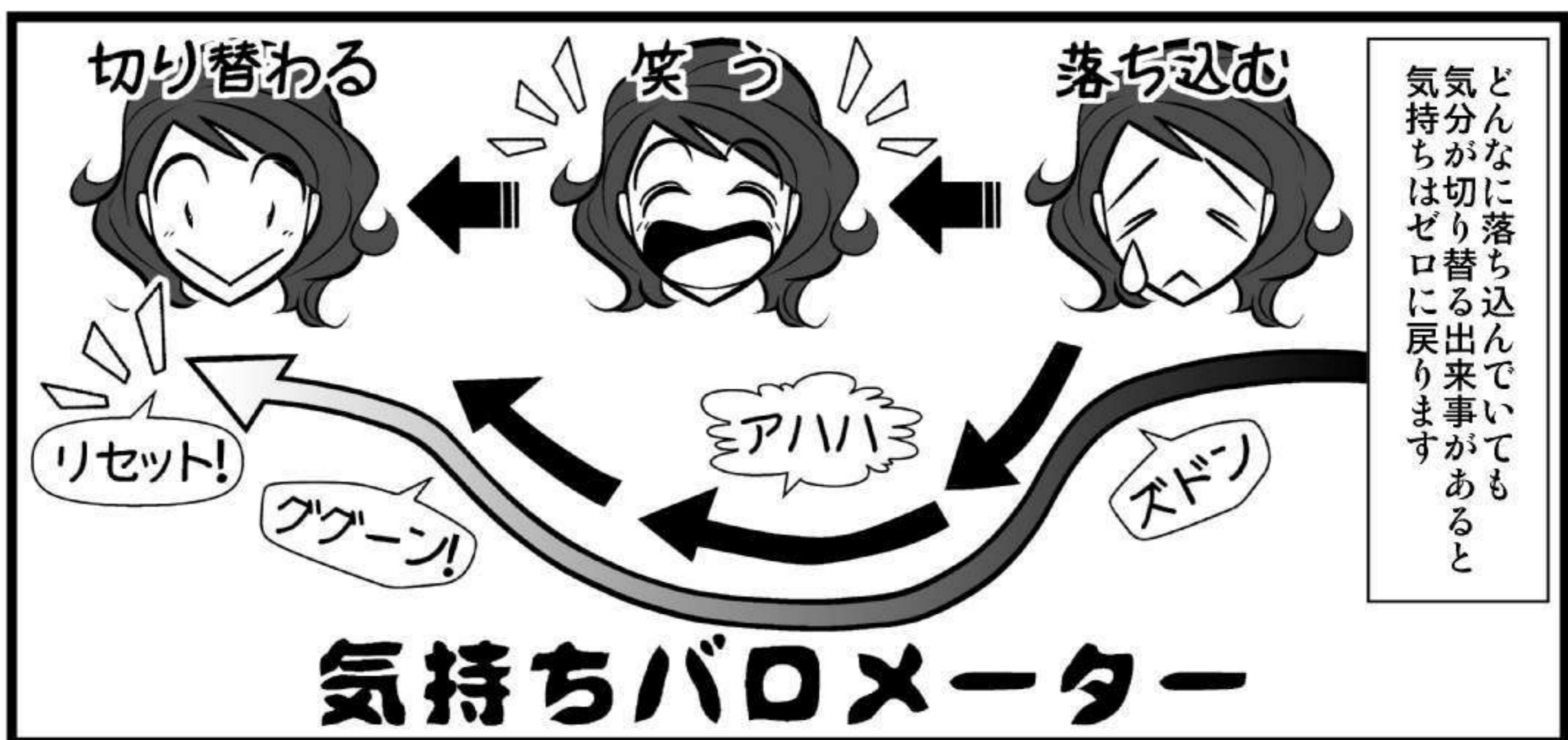
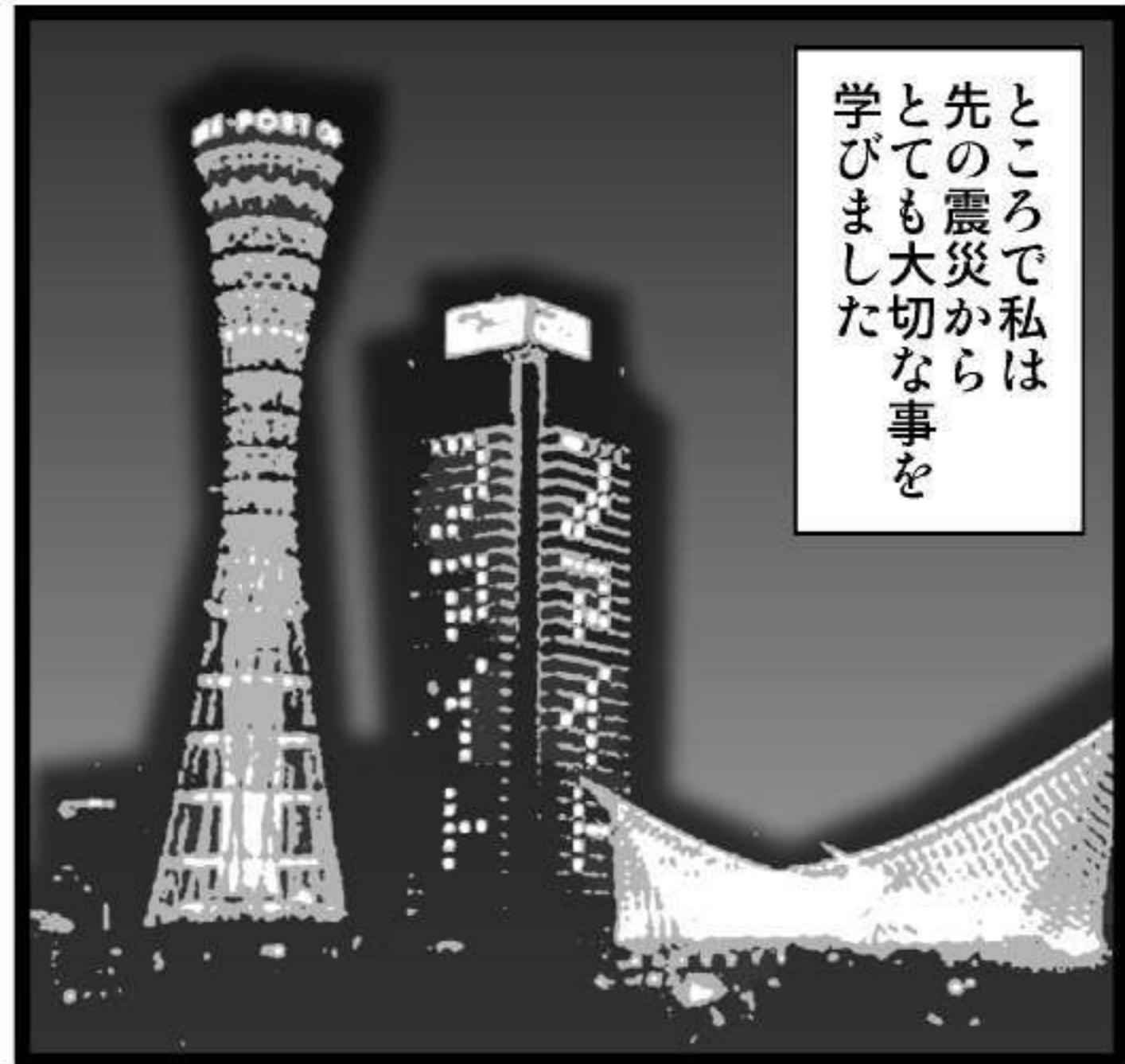


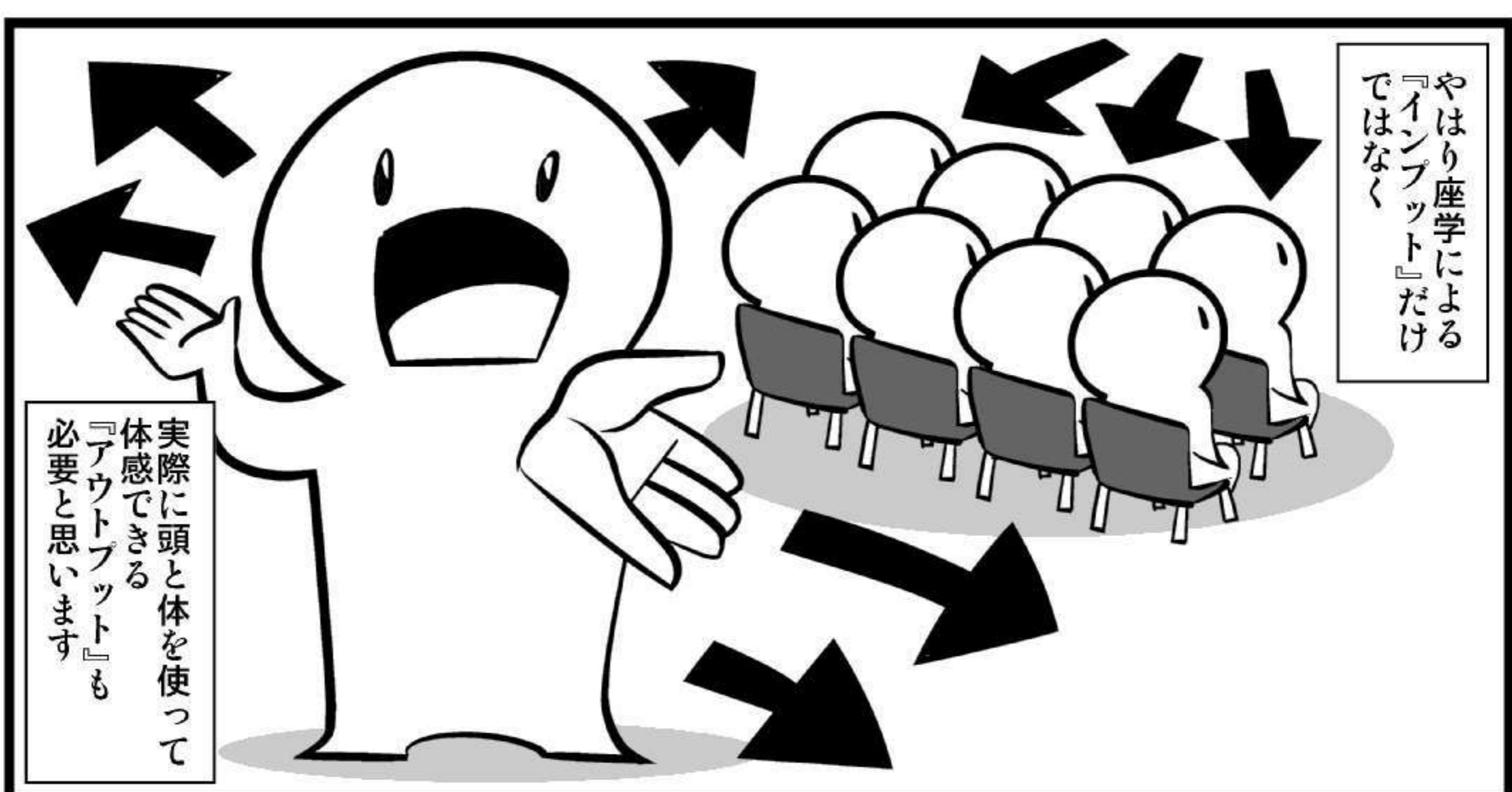
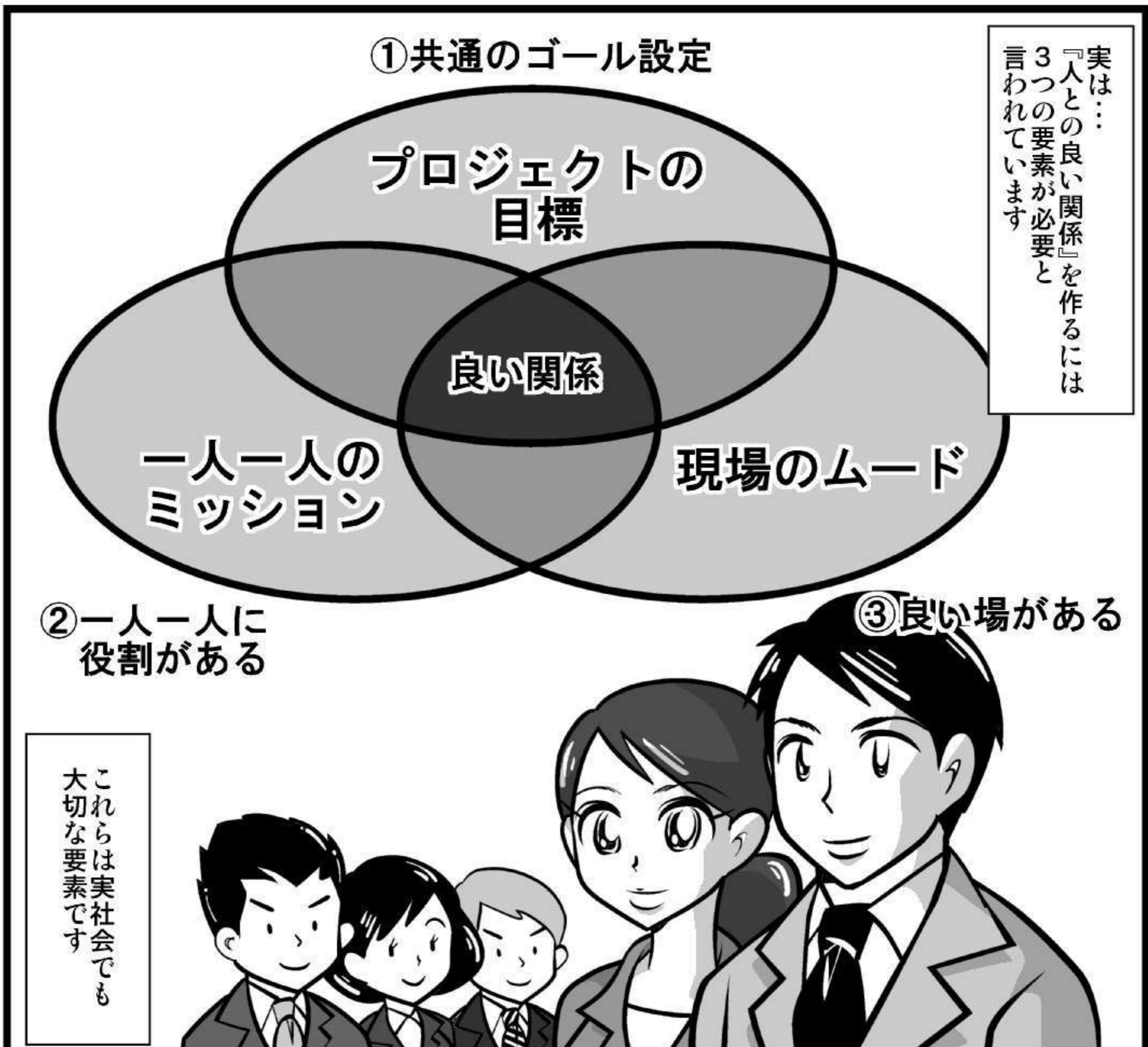


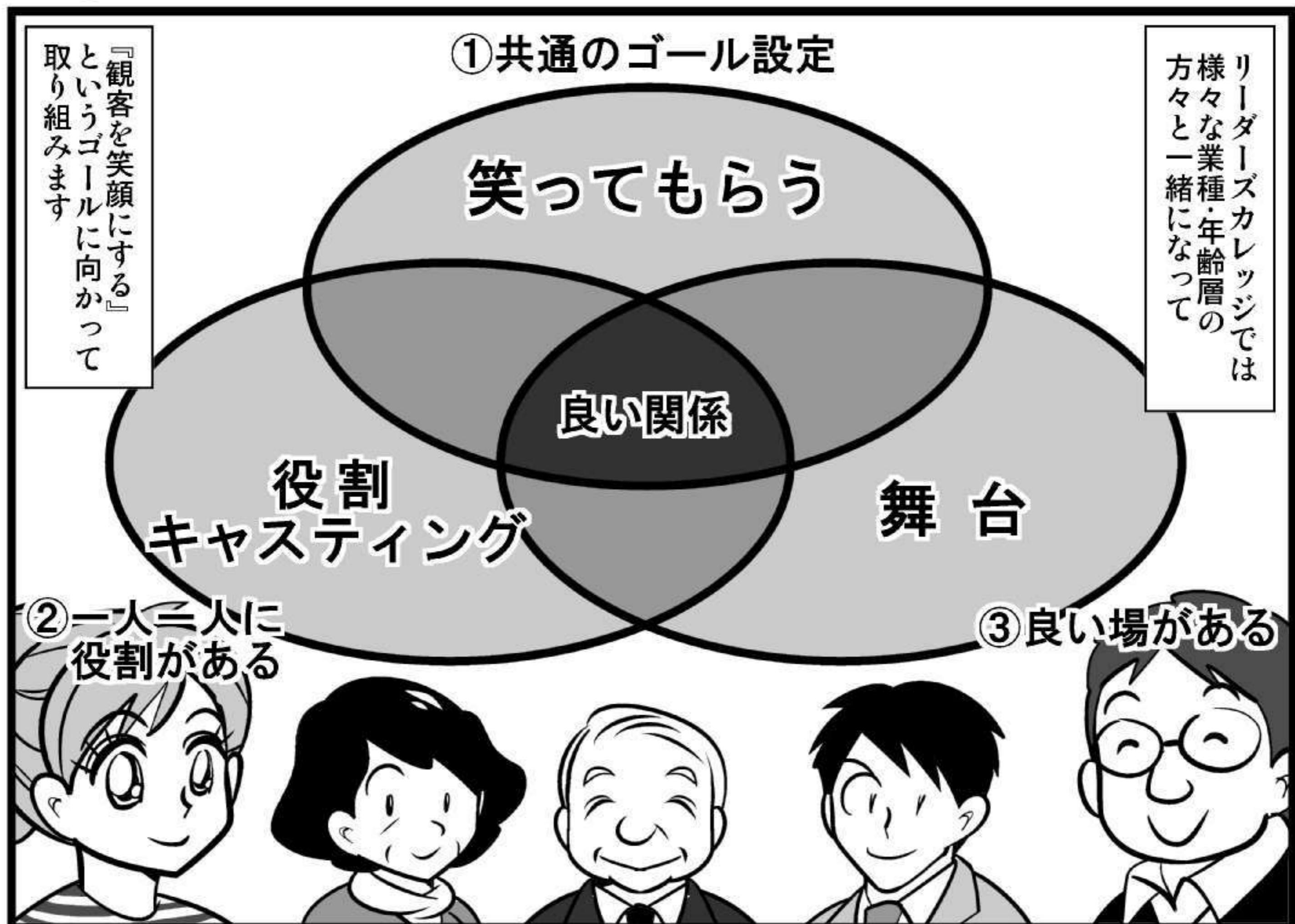










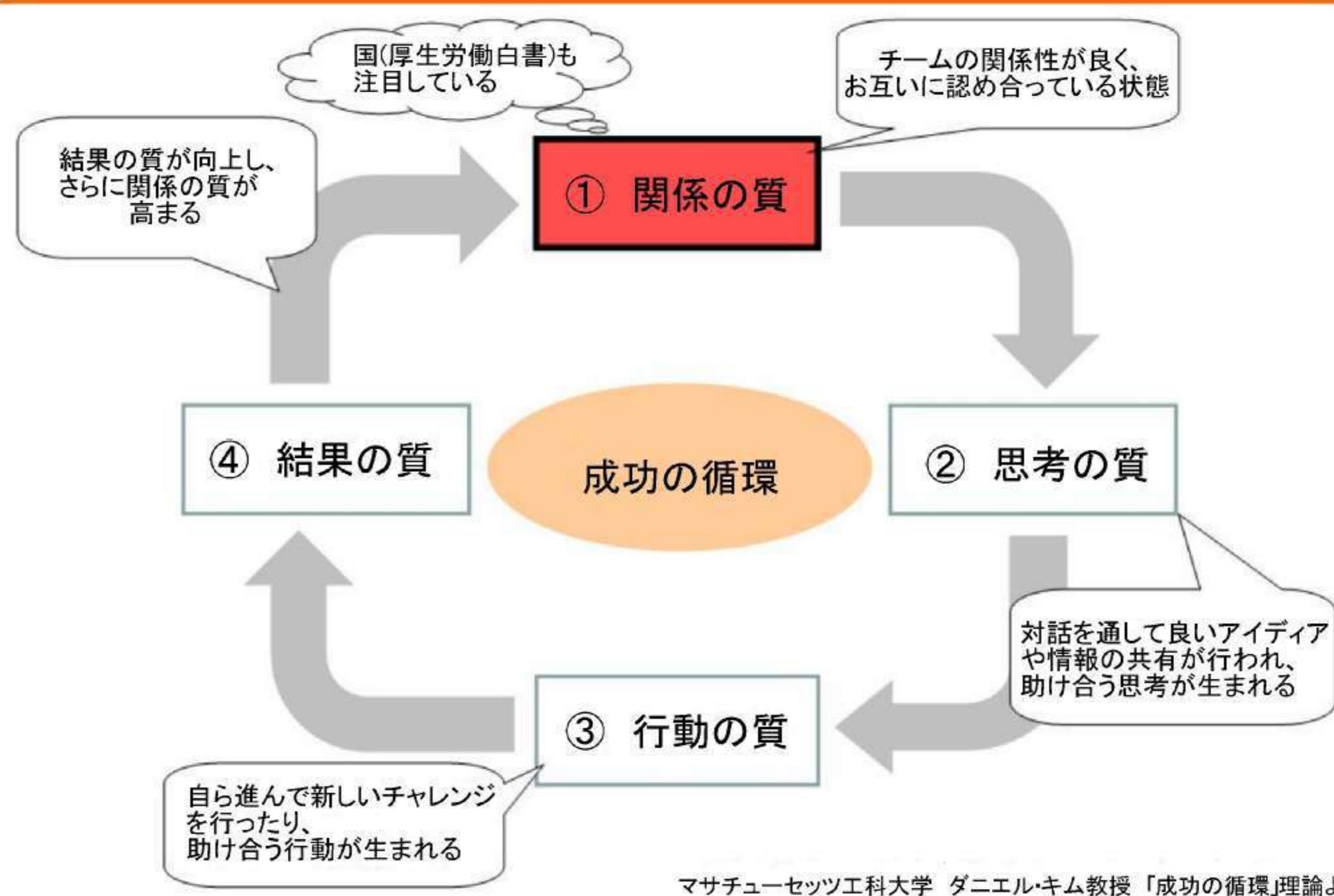




T:Time(時) P:Place(場所) O:Occasion(場合)



## 良い職場環境の「土台」づくり

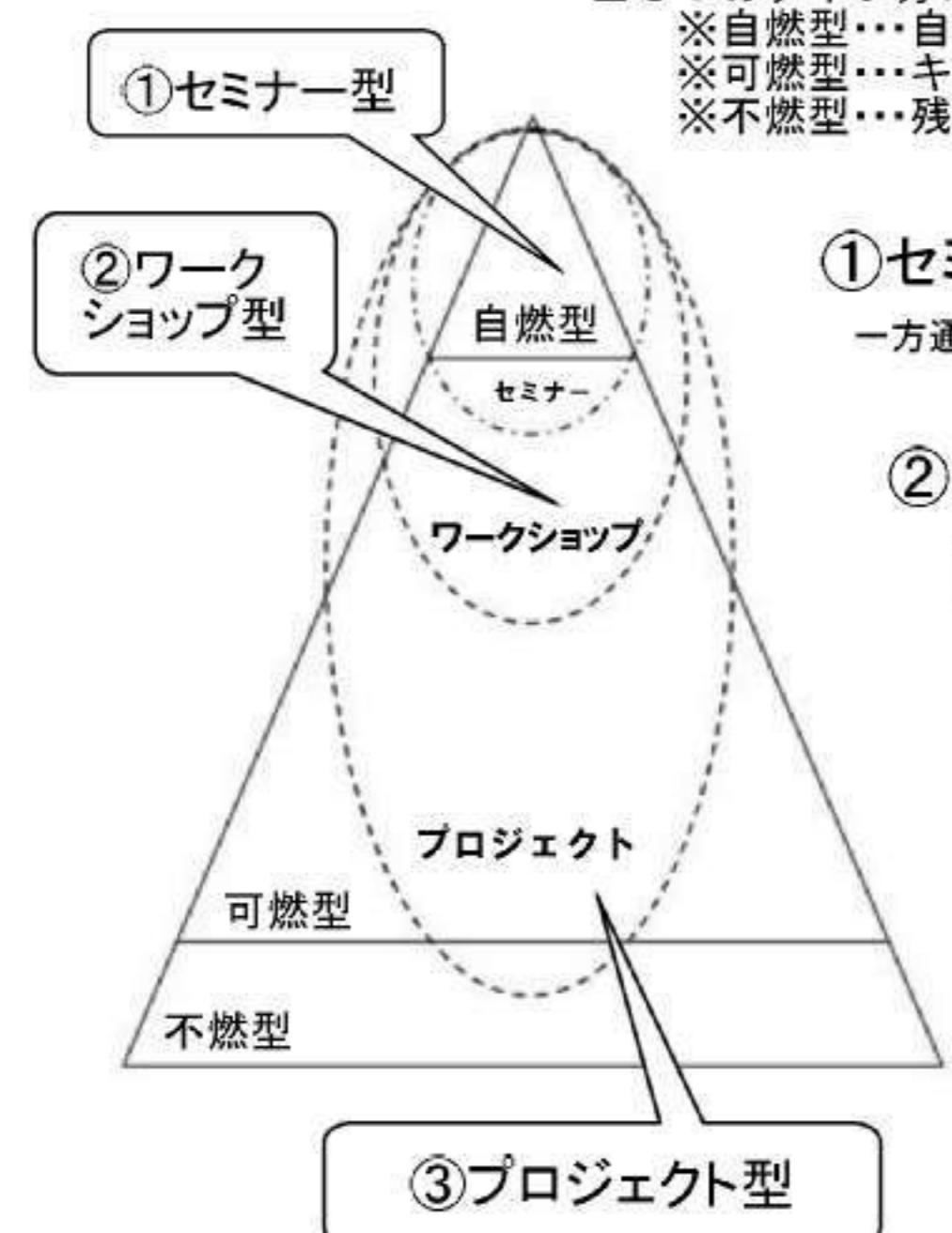


## 今、注目のプロジェクト型とは？

「関係の質」を上げる効果的なアプローチとして  
**「プロジェクト型」**の取り組みが注目されています！

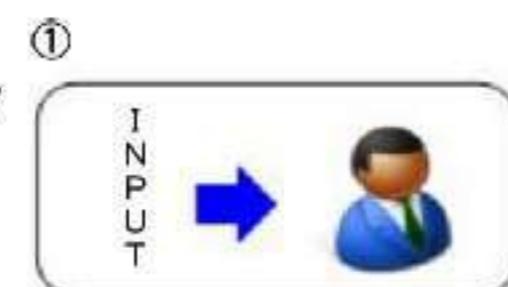
■ 3つのタイプ分け

- ※自燃型…自ら目標を立てて走っていけるタイプ
- ※可燃型…キッカケがあれば燃えることができるタイプ
- ※不燃型…残念ながら、なかなか燃えることができないタイプ



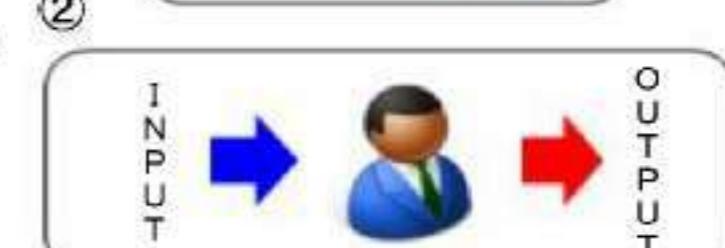
**①セミナー型**

一方通行で聴講することが多く、実践・行動につながりづらい



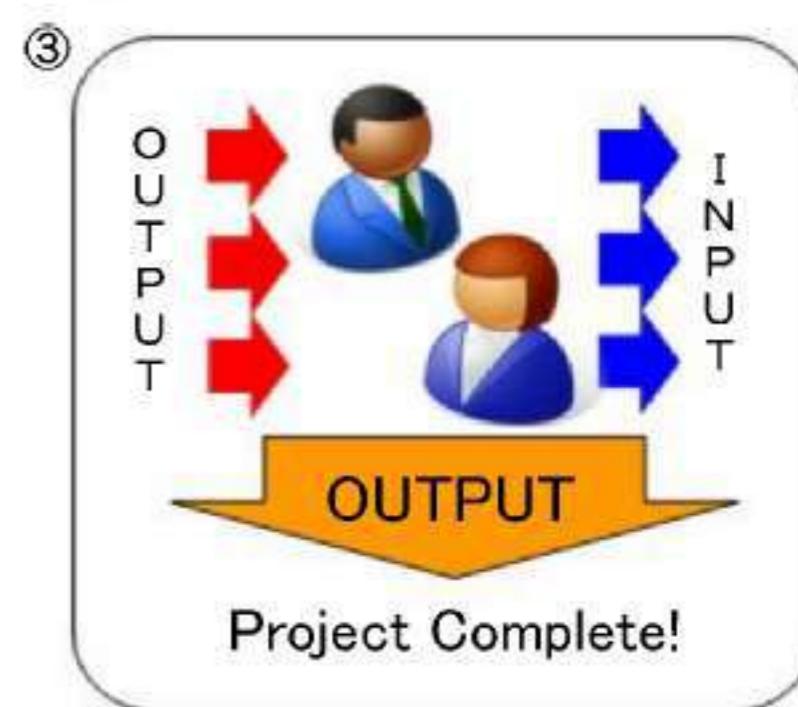
**②ワーク ショップ型**

実験的なチャレンジを通して、日常の現場に持ち帰れるスキルの習得が可能



**③プロジェクト型**

実際にトライ & エラーを繰り返しながら、目標(プロジェクト)を仲間と共に達成。気づきや感動を手に入れることを通じて、可燃型の多くの人々に火をつける。



## 今、注目のプロジェクト型とは？

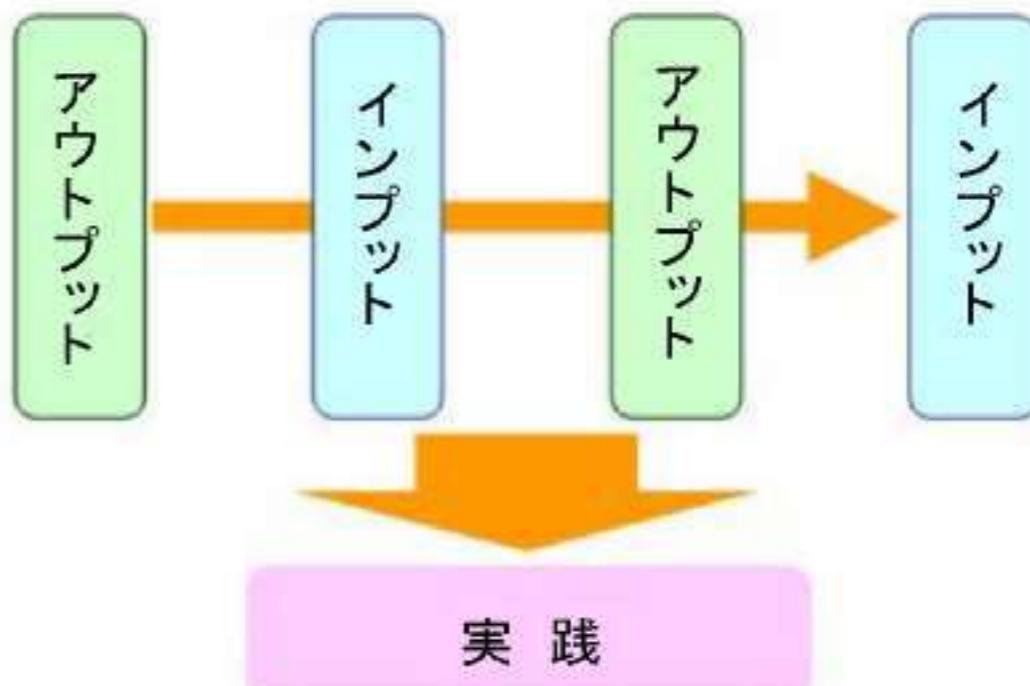
### NHKスペシャルに取り上げられた「人材育成システム」

私どもでは、『感じて、興味を持って、動く人づくり！』をテーマに、人材育成・学校事業(※リーダーズカレッジ)を1997年より行っております。

近年、ひしひしと感じることは、現代を生きるビジネスパーソンに求められる能力の中心となるのは、「居場所をつくる力＝自分の居場所や、仲間の居場所を生み出す力」であると実感しています。

また、グローバルな社会の一員として、世の中の変化に対応するには、時流を読み、自ら考え、周囲の協力を得ながら、能動的に動きだして成果を導く【巻き込み型の人材】(ハイパフォーマー)が求められていると強く感じます。

プロジェクト型の「人材育成」が、次代を担う方々にとりまして、有意義な取り組みとなりますと幸いです。



※リーダーズカレッジとは…

リーダーズカレッジ(既存校)の前身は、吉本興業と共同してスタートした「吉本リーダーズカレッジ」。活動の当初からプロデューサーを務める大谷由里子(現 志縁塾 代表)が、2003年3月に吉本興業より業務移管を受け時代にマッチした“今を生きるリーダー”の育成に力を入れております。

\*巻き込み型の人材とは、ハイ・パフォーマーを指します。

## 今、注目のプロジェクト型とは？

### ● 「トライ＆エラー」の疑似体験

研修やセミナーの時間は、失敗しても痛くない貴重な宝物の時間です。日常と一味違った「空間、環境」を確保することで、「トライ＆エラー」に、能動的に取り組みます。

- a.どのようにするとうまく進められるか？
- b.他者との関わり方は？ 等

自問自答しながら「アウトプット」→「インプット」→「アウトプット」を繰り返します。



※ 最後に、発表の機会を設け「やったら出来た！」を体感できるため、成功体験が定着しやすく、実践への応用が容易となります。

### ● 参加者のアウトプットを重視



ポイントは、参加者の「気づき」です。知識や情報を一方的に詰め込む講義形式に頼りすぎると、〇〇しなければならない…という「やらされ感」が出やすくなります。

**MUST ⇒ WANT**への行動変容

アウトプットから始めることで、参加者が自ら「気づき」自ら能動的に、次の新たなチャレンジへと動き出します。